

「龍禪寺町馬込川健全環境会」における活動について
(報 告)

令和 8 年 2 月 20 日

浜松市中央区龍禪寺町自治会

令和 8 年 2 月 20 日

「龍禅寺町馬込川健全環境会」における活動について（報告）

龍禅寺町自治会

会長 北村武之

平成 15 年に設立された「龍禅寺町馬込川健全環境会」の活動が 22 年を経過したので、本会の活動を総括し、報告する。

1 「龍禅寺町馬込川健全環境会」の設立主旨及び経過

龍禅寺町は、東側から南側にかけて馬込川が位置し、堤防には遊歩道が設置され、町民の絶好の憩いの場所となっている。しかしながら、町内を流れる馬込川は延長 1.2 k m にも達し、以前は馬込川堤防内等の草刈等の維持管理が十分に行われていなかった。

このため、堤防内等には雑草が生い茂り、多くの廃棄物の不法投棄も行われていた。これに対して、毎年 7 月の町内一斉草刈を行い、一時的には効果は得られるものの、雑草の生育が早く年間通した効果は芳しくない状況であった。

そこで、平成 15 年に自治会を中心に「龍禅寺町馬込川健全環境会」（以下、「環境会」という。）を設立し、15 年 4 月から約 50 名のボランティアが参加して除草作業にあたってきた。これによって、ここ数年は町民の憩いの場としても相応しい綺麗な堤防が維持されるようになった。

2 環境会概要

（1）会員数

令和 8 年度会員数：町民 48 名

（2）活動日程

3 月中旬～11 月上旬の毎月第 2、4 土曜日の午前中（年間 30 回を予定）

(3) 活動費用

草刈り機替刃、燃料代、ボランティアの昼食・飲料代等を自治会費から捻出

(4) 顕彰

- ① 平成 28 年 8 月 24 日：河川愛護活動／静岡県知事表彰
- ② 令和 5 年 10 月 13 日：環境美化活動／静岡県知事表彰

3 環境会活動実績（令和 7 年度）

(1) 活動日：28 日

(2) 延べボランティア数：404 人（28 日×2 時間×404 人＝約 40,000 時間・人）

(3) 費用：需用費（使用ガソリン 380 リットル、弁当代等） 444,391 円

4 環境会活動の効果

(1) 環境会設立前の状況

- ・ 町民一斉草刈を実施していたが、年に一回実施するだけのため、2mにもなろうかという雑草が年中堤防一面を埋め尽くしていた。
- ・ 雑草に紛れて、ごみが大量に投棄されていた。中には、布団、家具、自転車等粗大ごみも多量に投棄されていた。
- ・ 堤防沿いを散歩する人も限られていた。
- ・ 犬などのペットの糞の放置が多量に見受けられた。

(2) 環境会設立後の状況

- ・ 龍禅寺町には公園がないが、馬込川堤防内に散策道を新設したこともあり、公園代わりに利用することができるようになった。
- ・ 堤防沿い、遊歩道、散策道を散歩する人が増加した。
- ・ 馬込川沿いでの住民コミュニケーションが図られるようになった。
- ・ ペットの糞が激減した。

- ・ 粗大ごみの投棄がほとんどなくなった。
- ・ 小中学校も積極的に除草活動に参加するようになった。
- ・ 堤防沿いで花を育てる人が増えた。
- ・ 周辺の自治会も本町に感化され、草刈を始めるようになった。これによって、周辺地域も並んで清浄化された。
- ・ 鴨等、多種の鳥が芽をついばみにやって来るようになった。
- ・ 何より「住みやすい町」が生まれた。
- ・ 地域コミュニティへ新たな人材が参加するようになった。
- ・ ボランティア活動を通じて町民の一体感が醸成され、参加者が仲間意識を持つようになった。
- ・ 住んでいる人が「誇れる町」となった。
- ・ 町民の愛町心が醸成された。

5 今後の課題

- ・ 必要経費の捻出
- ・ 環境会メンバーの増員と継承
- ・ 環境会活動について町民への周知・啓発
- ・ 後を絶たない廃棄物投棄・ペットの糞尿の放置者に対する更なる啓発
- ・ 本環境会活動の将来にわたる継続性の確保

6 行政への要望事項

- ・ 必要経費の助成
- ・ 草刈り後の草の除去作業等の作業活動のバックアップ



環境会設立前の状況（2mの草が生い茂る）



環境会設立後（作業後）



環境会作業後散策道付近（住民憩いの場となっている）